

ウグスク情報

ウグスク(御城)とは、首里城のことです。元々は敬称ですが、首里では今でも親しみを込めてこの呼び方を使います。

秋の首里地域は、イベントが満載！

琉球王朝 中秋の宴



昨年の中秋の宴での催し

中国皇帝の使者「冊封使」をもてなした宴のひとつ「中秋の宴」。今年は、初めて首里城公園の御庭にて、組踊や人間国宝による独奏が行われます。また、下之御庭の特設ステージにおいては古典舞踊を披露します。夜の首里城で中秋の名月を眺めながら組踊、古典舞踊を満喫してみませんか。開催日：九月十六日(金)～十八日(日)

首里城公園 夜間開園

首里城公園では、十月一日(土)から、開園時間を延長して夜間開園を行います。城内では正殿をはじめ建物や石積がライトアップされるほか、「西のアザナ」からは那覇市内の美しい夜景が楽しめます。昼とは異なる夜の幻想的な首里城を満喫してみてください。季節によって延長時間が異なりますので詳しくは首里城公園管理センターへお問い合わせください。



西のアザナから眺める夜景

首里城祭

首里城祭は、首里城公園及び国際通りにて開催します。首里城公園では往時、琉球王国最大の儀式であった国王の即位式「冊封儀式」の再現イベントを行うほか古典芸能や出御式を行います。国際通りでは、国王・王妃の琉球側と、中国皇帝の使者である冊封使側の行列に、伝統芸能を加えた琉球王朝絵巻行列」を展開します。豪華絢爛な一大絵巻をご覧ください。開催日：十月二十八日(金)～三十日(日)



王朝絵巻行列

第四〇回 首里文化祭

首里のイベント・首里文化祭が十一月三日(木)、龍潭通りにて開催されます。実行委員会の安里会長は、「これまで様々なことがありましたが、継続は力。地域の活力となるイベントにしたい」と四〇回目の豊富を熱く語ります。イベントでは、琉球国王の三ヶ寺参詣を再現した古式行列、旗頭を中心とした伝統芸能や子ども会・婦人会による総勢二千名規模のパレードが行われます。また、龍潭での花火は必見です。



座波永徳事務局長 安里積貞実行委員会会長

首里かわらばん Vol.2

琉球歴史回廊

首里には魅力的な歴史資源があると同時に、それを支えて活動する人たちがいます。この首里かわらばんでは地域で活躍している人たちを紹介していきます。

特集 龍潭通り

城下町のメインストリート

野原浩さん



山川交差点から鳥堀交差点へ至る龍潭通り。ここでは現在、歴史的景観に配慮した街路整備が進められつつあります。この周辺一帯の地域づくりに取り組んでいる野原さんにお話をうかがいました。

記者：野原さんが、龍潭通りのまちづくりに関わったきっかけは何でしょうか。
野原氏：やはり、一九九二年の首里城の復元です。終戦後の焼け野原の首里を見ていた我々世代にとっては、首里城復元は衝撃的なことでした。龍潭通り一帯は、かつての城下町ですので、立派な首里城の姿を見た時、それにふさわしい街並みにしなければと実感しました。それが協議会の設立や様々な地域活動の原点になっています。

記者：城下町にふさわしい街並みとは？
野原氏：まず、首里城からの眺めの確保と街並みの統一です。そのためには、建築物の高さや造りについて一定の基準、規制が必要になります。そこで那覇市と共に、都市景観形成地域指定の協議を始めたのです。当初は、生活への保障や規制について不安を持つ人が多かったのは勿論です。今では笑い話ですが、一時は「那覇市に委託されて活動しているのか」と言われたこともありました。それくらい家々を廻って説明や説得を行い、ようやく理解を得られました。

沖繩の顔・龍潭通りをめざって

記者：龍潭通りは、首里城公園及び国際通りにて開催されます。首里城公園では往時、琉球王国最大の儀式であった国王の即位式「冊封儀式」の再現イベントを行うほか古典芸能や出御式を行います。国際通りでは、国王・王妃の琉球側と、中国皇帝の使者である冊封使側の行列に、伝統芸能を加えた琉球王朝絵巻行列」を展開します。豪華絢爛な一大絵巻をご覧ください。開催日：十月二十八日(金)～三十日(日)

催し物 9月～11月

名称	日時	場所	備考
中秋の宴	9月16日(金)～18日(日)	首里城公園 御庭・下之御庭	雨天時は系図座・用物座にて開催 (問)首里城公園管理センター TEL 886-2020
文化講座 空手道伝来の謎を解く～首里手・那覇手・泊手の源流～ 講師：金城 昭夫氏(福建少林寺唐手道家)	9月17日(土)14:00～16:00	沖縄県立博物館講堂	(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL 884-2243
首里城祭	10月28日(金)～30日(日)	首里城公園 御庭・下之御庭 国際通り	(問)首里城公園管理センター TEL 886-2020
体験学習教室 はりこのおもちゃをつくらう 講師：豊永 盛人氏(玩具 Road Works 主宰)	10月29日(土)9:00～13:00	沖縄県立博物館	定員40名。募集期間：10月1日～15日。内容：はりの絵付け・作品の鑑賞会。児童生徒対象。(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL 884-2243
文化講座 サンゴ礁：生物が創り出す美しい世界 講師：西平 守孝氏(名桜大学教授)	10月15日(土)14:00～16:00	沖縄県立博物館講堂	(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL 884-2243
文化講座 沖縄・博物館ものがたり 講師：園原 謙氏(文化施設建設室博物館班主任専門員)	11月3日(木)10:00～12:00	沖縄県立博物館講堂	(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL 884-2243
首里文化祭	11月3日(木)	龍潭通り及び周辺	古式行列は 14 時から歓会門をスタート (問)首里文化祭実行委員会 TEL 886-5547
体験学習教室 木の実でおもちゃをつくらう 講師：上運天 賢盛氏(野山を愛する会会長)	11月19日(土)9:00～13:00	沖縄県立博物館	定員40名。募集期間：10月20日～11月5日。内容：ソテツや松の実を使ったおもちゃづくり。児童生徒対象。(問)沖縄県立博物館教育普及課 TEL 884-2243

記者：地域住民としての思いは？
野原氏：龍潭通りは首里文化祭では、祭りの舞台にもなり、首里の人間にとっては大事なスポットです。また首里城と一体になって地域が磨かれるということもは沖繩の観光の利益につながるのではないのでしょうか。我々は、地元の利益だけではなく、沖繩全体のためにも、この地域を沖繩の顔として整備していく必要があると思います。



首里文化祭の古式行列

記者：その思いが二〇〇二年の「龍潭通り沿線地区都市景観形成地域」指定へつながるのですか。
野原氏：そうです。実は、那覇市との取り決めの真っ最中に、私は大動脈瘤で倒れ、生死をさまよう経験をしました。この病气から回復するのは非常に稀らしいのですが私は一命を取り留めたばかりか、奇跡的に回復することができ、退院から半年あまり後には、地域指定にこぎつけることとなりました。まさに龍潭通りに呼び戻されたという感じです。

龍潭通りへの展望

記者：今後、大事な点は？
野原氏：歴史的な面影を残しながらも、生活者からの視点は重要だと思います。例えば、道路拡幅の計画では、県立博物館の石垣は文化的価値があるから、その後ろに

首里城から



首里城公園管理センター 常任参事 伊波栄一さん

今年四月に着任した伊波栄一常任参事。財団の目標は、「感動」と満足」を提供すること。財団では展示やイベントを通じて、首里城を楽しんでもらおうと奮闘中です。最近、龍潭通りに植物プランターの設置協力を行いました。多くの人に支えられている首里城だからこそ、地域と共に活性化できればと期待しています。

かわらばん参加者募集！

「琉球歴史回廊」とは、地域の歴史文化を大切にしたい、地域住民自らによる地域づくりの活動です。それぞれの地域資源が多岐にわたる中、琉球弧全体に広がっていくことを目的としています。首里かわらばんでは、首里地域の歴史や文化を楽しめる情報づくりをめざしています。身近にある情報紙づくりをめぐらして、第二号では、タイトルデザインと世帯橋イメージイラストを、今回から編集に参加された首里在住の石原左内さんにご協力いただきました。

琉球歴史回廊 首里かわらばん第2号

2005年9月発行
編集 琉球歴史回廊構想推進協議会事務局 (内閣府沖縄総合事務局開発建設部公園調整官室内)
〒900-8530 那覇市前島 2-21-7
TEL 098-862-2390 FAX 098-866-2919

発行 (財)海洋博覧会記念公園管理財団 首里城公園管理センター
〒900-8815 那覇市首里金城町 1-2
TEL 098-886-2020 FAX 098-866-2919
タイトルデザイン 石原左内

琉球歴史回廊 <http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/kairo/index.html>
首里城公園 <http://www.shurijo.com/>

歩道を整備するそうです。しかし利用者の私たちとしては、道路の拡幅にあわせて移設すべきだと思っています。二〇〇七年には博物館も移転しますから、跡地利用を含めた一帯の活用を考えるのも課題になります。

記者：最後に一言お願いします。
野原氏：この一帯は一時期、子供たちの世代が郊外へ移り住み、老人のまちになりました。しかしこれからは道路や建物が整備され、子や孫と三世代で住むチャンスとなります。最近新しい店舗には若者の活気が戻りつつあります。出来上がった通りを活かすのは次の世代の若者たちだと思っています。期待しています。

記者：ありがとうございます。



現在の通りの状況

語句解説

■都市景観形成地域指定：那覇らしい都市景観をまもり、そだて、つくるために地域住民の同意をもとに那覇市の景観条例で指定した地域。龍潭通りでは、約一・二キロ区間の通り沿線を指定し、道路や沿道建物が統一感を持たせた景観形成を図る取り組みが行われている。

■県立博物館の石垣：博物館敷地は、王子の屋敷「中城御殿子カグスクウダウン」があった場所である。建物は沖繩戦で破壊されたが、石垣は修復され残されている。